

であるが幼児にとりては深い意味を有つて居るものである。何となれば遊戯は彼等の生命であり、課程であり、はたらしきであるからである。それで此幼児と離れられぬ關係のある遊戯を用ひて、幼兒に自然を教へるといふ事は至當な事で、凡て自然に對する興味を養ふといふ事は、幼兒に廣大無邊の宇宙を教へ其間に含まるゝ眞理攻究の基礎となすものである。

(完)

會報

去る六月十七日、本會第三十七回常會を京橋區築地朝海小學校に開きたり、當日は相憎の雨天なりしに係はらず、來會者五十名に餘り、席上東基吉君笹野豊美君の演説あり、次ぎて、田中ふさ子氏の組合の報告、山田ます君の物を買ひたがる子

の習癖の矯正法につきての質問等ありて中々賑かなりき、會の終はりたるは、午後五時頃なりき。

入會

- 日本橋區石町一ノ十一
- 女子高等師範學校附屬小學校内
- 日本橋區藥研堀町二六
- 上州碓氷郡原市町一四六私立原市赤心幼稚園内
- 神戸市下山手通七丁目九七ノ三
- 私立聖家族幼稚園内
- 本郷區五丁目十九番地奥隅方
- 美作國津山町田町私立幼稚園
- 麴町區麴町幼稚園
- 麴町區麴町幼稚園
- 上州高崎市赤坂官舎一〇七
- 本所區線町五丁目二十八番地
- 赤坂區青山六丁目百二〇
- 靜岡縣田方郡三島町小仲島四五〇
- 靜岡縣田方郡三島町一四〇〇

會費領收(自明治三十八年五月廿五日)

金額	年	月	日	姓	名
六〇	三	八	五	三	八
				一	〇
				五	十九

二〇 三八、一—三八、二
 二〇 三八、三—三八、四
 二〇 三八、三—三八、四
 六〇 三八、七—三八、一二
 三〇 三八、四—三八、六
 三〇 三八、四—三八、六
 三〇 三八、六—三八、八
 三〇 三八、四—三八、六
 七〇 三八、六—三八、一二
 一一〇 三七、七—三八、六
 一一〇 三八、二—三八、一二
 一一〇 三八、四—三八、三
 一〇〇 三八、三—三八、一二
 三〇 三八、七—三八、九
 五〇 三八、一—三八、五
 二〇 三八、六—三八、七
 三〇 三八、六—三八、八
 三〇 三八、六—三八、八
 三〇 三八、八—三八、一〇
 三〇 三八、七—三八、九
 五〇 三八、五—三八、九
 三〇 三八、六—三八、八
 三〇 三八、四—三八、六

佐方 鎮
 武田 錦
 新井 博次
 平山 ひさ
 田淵 みす
 鈴木 ぎん
 藤谷 いわ
 樋口 きち
 宇野 みか
 佐々木 八千代
 西村 もと
 野口 ゆか
 近藤 はま
 成瀬 きよ
 笹野 豊美
 西本 きみ
 江尻 すが
 井川 ひさ
 千葉 秀
 山田 ます
 中安 親
 深江 とし
 坂元 つや

一一〇 三八、四—三八、三
 五〇 三八、五—三八、九
 一〇〇 三八、六—三八、三
 五〇 三八、三—三八、七
 三〇 三八、二—三八、四
 一〇〇 三七、一—三八、九
 二〇 三八、五—三八、六
 五〇 三八、六—三八、一〇
 二〇〇 三六、一—三八、六
 二〇 三八、三—三八、四
 一〇 三八、四
 二〇 三八、三—三八、四
 五〇 三八、三—三八、七
 二〇 三八、三—三八、七
 二〇 三八、三—三八、四
 二〇〇 三七、五—三八、一二
 二〇 三八、三—三八、四
 五〇 三八、六—三八、一〇
 一五〇 三七、一—三九、二
 五〇 三八、五—三八、九
 一〇〇 三七、五—三八、二
 一一〇 三八、七—三九、五

吉住 幾久江
 北野 晴
 伊藤 ぎん
 吉田 しう
 三谷 鏡
 小貝 貞
 吉野 かほる
 高木 あき
 前田 捨松
 谷田 部順
 町田 則文
 小池 みつ
 後閑 菊野
 林 蝶
 松浦 さと
 下田 たづ
 杉本 まさ
 吉川 愛
 清原 興八郎
 鳥海 順
 奥平 たま